

1 自己評価及び外部評価結果

(ユニット名 ー)

事業所番号	0690400015		
法人名	特定非営利活動法人あすなろの会		
事業所名	グループホームあすなろ白旗		
所在地	山形県米沢市大字三沢字白旗18-26113番地		
自己評価作成日	令和 2年 12月 29日	開設年月日	平成 14年 4月 1日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当事業所の理念にありますように『このころの通う介護』を目標に職員一同日々努めております。グループホームだからこそできます家庭的でおひとりおひとりの生き方を尊重しています。また、当施設には認知症療法として効果があるといわれます、ミュージックケアを実施しております。

※事業所の基本情報は、公表センターページで検索し、閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 <https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/>

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 エール・フォーユー		
所在地	山形県山形市小白川町二丁目3番31号		
訪問調査日	令和 3年 2月 2日	評価結果決定日	令和 3年 3月 1日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

郊外の静かな場所にあつて地域に根差したグループホームを目指し、町内会に加入して積極的に交流を図り認知症ケアの啓発に努めています。家庭的で生活感の漂う中で利用者が安心して日常生活を送ることが出来るように、管理者と職員は一人ひとりの個性を尊重して丁寧に対応し、それぞれがゆったりと穏やかな日々を送っています。運動機能が低下しないように音楽とインストラクターの動きに合わせて体を動かすことで利用者の表情も明るくなり、体力を維持して生きがいや楽しみを持ち続けてもらえるようにいろいろと工夫しながら利用者本位に支援している事業所です。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~54で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
55	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	62	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
56	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,37)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	63	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
57	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	64	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
58	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:35,36)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:48)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:29,30)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
61	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

山形県地域密着型サービス「1 自己評価及び外部評価(結果)」

※複数ユニットがある場合、外部評価結果は1ユニット目の評価結果票にのみ記載します。

自 己 外 部	項 目	自己評価		外部評価	
		実践状況		実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	職員全員で事業所理念を共有できるようみんなが目につくところに事業所理念を提示し、目標として日々ケアにつなげています。	理念と目標を掲げて共有し、ケアに反映されているか研修等で日々の行動を確認している。利用者が安心して穏やかに生活できるように、個性と思いを尊重し心を込めて利用者本位の支援に努めている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	本年はコロナの影響もあり、例年よりは行事がなく地域の方との交流の機会は少なくなりましたが、地域の方々とは開設当時から密に関わりより良い関係を築いてきました。	コロナ禍の中でままならないが例年夏祭りや芋煮会など積極的に交流を行って地域住民の一員として活動している。散歩などで近隣住民とふれあう機会も多く、町内会費の納入やごみステーションの利用・回覧板による情報収集など地域との繋がりを大切にしている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議を通じて地域の方にも現状等を説明し、理解を深めて頂いております。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議にて当事業所の取組みを報告し、共有してそこで得た貴重な情報を職員でも共有し、意見交換しサービスに取り入れるようにしています。	コロナ禍の中にあつて、運営推進会議を書面による報告に変えて実施し、理解と支援を得ている。意見を募りサービスの質向上に反映させている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	地域密着型であるため常に市役所等からの連絡・通知等に気を配っております。	運営推進会議において事業所の実情やサービスの取組みに理解を得、情報提供や問題解決に向けて協力関係を築いている。生活指導員の受け入れによって利用者の様子や率直な感想を聞き業務に活かしている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、環境や利用者の状態を考慮しながら、玄関に鍵をかけない工夫や、身体拘束をしないで過ごせるような工夫に取り組んでいる	毎月ミーティングでも職員間で身体拘束についての話し合いを設け、内部研修でも身体拘束の勉強会を行い、職員の意識と理解を深めています。	身体拘束による弊害について研修等を通して共通認識をもって支援している。一人ひとりの意向を尊重して抑圧しないように注意し、定期的に身体拘束適正化のための検討委員会を開催して職員に周知を図っている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	内部研修でも虐待についての勉強会を行い、虐待が起こる事のないよう努めております。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	実際に日常生活自立支援事業や成年後見人制度をお使いの入居者もいらしゃるため制度の勉強を行っております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	十分な説明を行い、理解して頂いた上で契約等を行っております。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱を設置し、自由に書いて頂けるような体制を作っております。	コロナ禍の中にあつて面会を制限しているが、毎月のお便りで生活の様子を詳しく伝えて要望を伺っている。アンケートを取り入れたり気兼ねなく話せるように配慮し誠実に対応している。	
11		○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日々の中でも職員とのコミュニケーションを図り、気軽に意見を言えるような雰囲気作りと声掛けを行い、ミーティング内でも意見の交換を行っています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員個々の成果は、管理者から代表者へ報告。管理者の評価に当たっては代表者が把握するという体制を行っています。		
13	(7)	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	積極的に法人で資格の取得を推進しており、取得しやすい環境をつくっております。	交替勤務の中で経験や習熟度に合わせて研修の機会を積極的に設け、資格取得を推奨している。研修後は伝達研修や資料の閲覧で共有し、スキルアップを図っている。	

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
14	(8)	○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	コロナの影響で現在出来ていませんが、法人内で交換実習を行っております。	例年グループホーム連絡協議会の研修に参加したり交換実習を通して情報を共有し、サービスの質向上に努めていたが今はコロナ禍の中にあつて法人内だけの研修にとどまっている。法人内の各施設から集まって入浴介助やケアの方法を学び業務に励んでいる。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービス開始前に十分なアセスメントを行い、本人の要望等を確認しています。			
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービス開始前にご家族に本人の状態の確認と共に、ご家族としての要望等を十分に聞くように努めています。			
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	初回面接、または利用開始直後等の段階で聞き取りを行い、他サービス利用も含めた話し合いを行っております。			
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	洗濯物等の家事を職員と一緒にやり、過ごしている生活を共に築いております。			
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	現在、コロナの影響にて面会制限している状態ですが、毎月のお便り等で各担当者が日々の生活がわかるようお知らせしております。			
20		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	現在、コロナの影響で色々な制限はあるものの、出来る限り利用者の友人や親せき等との交流は計らい、電話や手紙等の方法で支援しております。			

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士でも性格の不一致等がありますので、座席の配置に気を付け、出来る限り穏やかに過ごせるような関わり合いができる環境作りやサポートをしております。			
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ケアマネージャーや管理者とも協力し、終了後であっても家族の相談等に努めております。			
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	各担当による本人の意向の把握または、都度関わった職員による意向の把握、様々な方法にて出来る限りの希望に添えるよう努めております。	傍に寄り添って話を聞いたり、毎日の生活の中から思いをくみ取っている。表出できない場合には職員の交代や間をおいたり一つひとつ丁寧なアプローチで接し、しぐさや表情などから思いを把握している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	一人一人にカルテを作成し厳重に管理すると共に職員全員が利用者の生活歴や生活環境等の把握の共有が出来るよう努めています。			
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の記録をしっかりと取り、交代勤務に中でも日々変わりゆく利用者の心身の状態や特記等を漏れることなく把握することができています。			
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	定期的カンファレンスを行い、本人にとってのより良い生活のためにモニタリングを行っております。	本人・家族等の意向を確認し、毎日の申し送りや各種記録等で現状を把握して必要な支援を盛り込み計画を作成している。職員会議で周知を図り、楽しみを持って体力を維持しながら利用者主体の生活を送れるように支援している。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日勤者、夜勤者等と申し送りをし、状態の把握を共有すると共に日々の記録にもしっかり残しております。			

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
28		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	現在、ボランティア等の受け入れはコロナの影響にて難しい状態ですが、出来る限りの地域資源の活用を行っております。			
29	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、かかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医受診の際は、職員が付添い、報告書を提示し利用者の状態をわかりやすく伝えるよう努めています。	かかりつけ医への受診支援は家族等や職員が付添いで行き、協力医から定期的に訪問診療も受けている。医師へは毎日の体調や血圧等を記載した報告書で情報提供を行っており、受診結果は家族等にも知らせて共有している。		
30		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	個別ケア記録の共有と何かあればすぐに連絡を取り合えるような手段を取っています。			
31		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、入院治療が必要な可能性が生じた場合は、協力医療機関を含めた病院関係者との関係づくりを行っている。	本人、ご家族が入院の際不安なことを口にされたときはすぐに病院、相談員に連絡を取るようにし、必要な情報提供に努めていますし、逆に病院から必要な情報を求められたときは迅速に対応行っております。			
32	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、医療関係者等と共にチームで支援に取り組んでいる	初回の契約の段階で重度化した場合の対応や終末期の方針等の説明と話し合いを行い、書面上でも確認しております。	終末期の対応については、看護師の配置がなく看取りができないことを説明している。重度化した場合には対応手順に基づいて、医師や家族等と相談のうえ医療機関や他施設へ移ってもらっている。		

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
33		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	研修等で急変時の対応や応急手当等の勉強を定期的に行っております。			
34	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	実践的に消防の方や地域の方にも協力を得て、年2回の避難訓練を実施しております。	避難訓練は年2回実施して、近隣の住民からも参加してもらい見守りなどの協力を得ている。消防署員の指導により、火元からの延焼を遅らせるために戸を閉めて避難時間を確保することや避難場所が砂利で転倒危険があるために利用者に内履き(ズック)を履いてもらい安全を確保している。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
35	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	おひとりおひとりの個性を尊重し、その時々のお話しや訴えに耳を傾け、尊厳の保持ができるような対応を日頃より心掛けています。	利用者の生活リズムや性格と言葉の内容を把握し、日常的に改善に向けて取り組んでおり、気づきなどを日誌やケアノートに記録して共有している。人格を尊重しながらプライバシー保護にも努めている。		
36		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の思いを第一とし、こちらの気持ちを押し付けないよう心掛けています。			
37		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	前述でも記載しましたが、危険なこと以外は本人のペースを優先し、施設側の都合は押し付けないよう日々努めています。			
38		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	利用者個々の服のこだわり、髪型等がありますので、出来るだけ自身で行って頂く、出来ないところはお聞きしながら本人の希望に沿うようお手伝いさせて頂いております。			
39	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	無理のない範囲で出来る事を職員と共に一緒にしております。	その日の担当する職員が献立を作り、できる利用者には職員と一緒に調理や洗い物などを手伝ってもらい楽しみや喜びに繋げている。食材の買い物は利用者も出かけていたが、今はコロナ禍のため職員のみで購入している。入所時の嗜好調査の他にその都度聞き取りをして料理に取り入れ提供している。		

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
40		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事の際は必ず職員が一人一人に目配りして状態観察行っております。また、そこで得た情報は職員間で共有し摂取量や水分量の確保を行っております。			
41		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	朝・昼・夕と毎食後に必ず口腔ケアを実施しております。その際、出来る事は出来る限り本人に行ってもらっております。			
42	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	持っている力は活かせるよう排泄時も個々の能力に応じて対応しております。	排泄チェック表を基に一人ひとりの表情やしぐさを確認し誘導を行っている。身体機能に応じてベッド下に赤外線の人感センサーを設けて転倒防止を図り、早い対応ができ安心に繋がっている。		
43		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘の際は、本人の聞き取りをまず行い、職員間で日頃の様子等の情報交換をした上で、かかりつけの医者に状況に応じて相談しております。			
44	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、事業所の都合だけで曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	一人一人の生活リズムの中には入浴等も入りますのでそちらを乱すことのないよう本人に合わせています。	入浴は週2回を目標にしており、長風呂や早い風呂などの生活習慣に合わせて介助をしている。浴槽で立ち上がりが困難な方には掴まり易い椅子を入れたり、入浴剤を変えながら気持ち良く入浴できるように支援している。		
45		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	休みたいという希望時は無理強いせず、本人に合わせて行うと共に、表情や動作等を見て疲労感のある方には、状態によって声を掛けたりしております。			
46		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	提携しております薬局と一人一人の薬剤管理と情報交換等を行っております。			

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
47		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>個々の特性を活かせるような役割作りとそれぞれに合わせた嗜好品の提供や趣味、楽しみを出来る限り近い形で提供出来るよう努めています。</p>			
48	(18)	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>現在、コロナの影響があり、なかなか自由な外出はできない現状となっております。</p>	<p>日常的に散歩や買い物・ドライブに出かけ、季節に合わせてながら県外の観光地にも旅行を兼ねて出かけたっていたが、今は自粛している。また家族等の支援で自宅へ帰ったり、食事や買い物などで楽しみ五感に刺激を得て喜んでいる。</p>		
49		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>当事業所では金銭の所持はできないこととなっているため、希望時や必要時は立て替え金として当事業所で一旦お支払いしています。しかし、そのことにより本人には不便さや煩わしさは感じさせないよう注意しています。</p>			
50		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>遠方の方からの電話や手紙はよく届きますのでスムーズなやり取りができますよう支援しております。</p>			
51	(19)	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>個々に合わせて環境整備等行っております。</p>	<p>温湿度の室内管理を徹底し、こまめに換気も行っている。テレビの前にはソファを設けて寛げるようにしており、利用者は思い思いの場所で過ごしている。また生活感や季節感のあるものを飾り、楽しさや喜びになるように暮らしの場としている。</p>		
52		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>各居室でそれぞれの思い思いの時間を過ごすことが出来ます。また、共有スペースでもあるホールにも自由に行き来出来るよう努めています。</p>			

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
53	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人、ご家族の希望のものはできる限り使用して頂き、利用者、家族が満足できるような居室作りを行っております。	馴染みのテレビなどを持ち込み好きな番組を見て楽しんでいる。居室内の壁面に家族等からの手紙や誕生日会・お祝いなどの写真を貼って喜び、利用者に穏やかな日々を過ごしてもらるようにしている。		
54		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	出来る限り生活する利用者が不便にならないよう、なおかつ出来る事は活かせるような環境作りを心掛けております。			